

「第8回総会を開催」 一般社団法人日本植物防疫協会

2019年6月14日 荒川区 ホテルラングウッドにて

一般社団法人日本植物防疫協会の第8回総会が、2019年6月14日午後3時から東京都荒川区のホテルラングウッドで開催され、正会員110名(議決権行使書含む)が出席した。

来賓として、農林水産省消費・安全局植物防疫課の松岡謙二課長、同省農産安全管理課農薬対策室の石岡知洋室長、(国)農研機構中央農業研究センターの大藤泰雄病害研究領域長、後藤千枝虫・鳥獣害研究領域長、(独)農林水産消費安全技術センターの高橋秀一理事にご出席いただいた。

藤田理事長の開会挨拶につづき、行政を代表して松岡課長より、研究を代表して後藤領域長よりご挨拶をいただいた後、次第に従って議事が進められた。

【藤田理事長 開会のあいさつ】

第8回総会の開会に当たり、協会執行部を代表しご挨拶申し上げます。

何よりもまず、本年1月7日に上路雅子前理事長が急逝され、皆様には大変なご心配をおかけしました。3月のお別れの会には全国から大変多くの皆様がかけつけて下さり、ご逝去を惜しむたくさんの声を聞くにつけ、失ったものの大きさをあらためてかみしめているところです。前理事長ご逝去のあと、やむを得ず私が代表理事をつとめさせていただくこととなりましたが、何とか無事に本日の総会を迎えることができました。これもひとえに会員の皆様の温かいご支援の賜と、感謝申し上げます次第です。

本日の総会では、平成30年度の事業と決算についてお諮りすることのほか、定款の一部改正についてもお諮りする予定です。7年前に常勤理事4人体制でスタートした新法人でしたが、この半年間は2人まで減った中でかろうじて切り盛りしている現状にあります。新たな定款のもとで、一刻も早く安定的な執行体制に立て直していけるよう、皆様のご理解を賜りたくお願いする次第です。

さて、植物防疫をとりまくここ数年の情勢の変化にはめまぐるしいものがあります。新たな農業施策の下で、生産資材費の低減、スマート農業の推進といった新しい取り組みが矢継ぎ早にすすめられ、植物防疫の推進方向にも大きな影響を及ぼしつつあります。加えて、国際水準に合せた新たな農薬登録制度への転換は、農薬の一層の安全性確保に資する反面、防除に必要な農薬を継続的に確保していくうえでの不安要因になりはじめています。

こうした動きは、当協会の事業活動にも少なからず影響を及ぼしていくに違いありません。



【挨拶する藤田理事長】

ん。このような認識のもと、2019 年度の事業計画においては、幾つかの事業について将来ビジョンの検討に着手していくことを明記したところです。

協会としては、大きく変貌する諸情勢にあって、植物防疫が的確に推進されていくために必要な活動とは何かをしっかりと見極め、できることを着実に推進していこうと考えています。そのためには、スクラップ＆ビルドを恐れず、スピード感をもって取り組んでいくことが肝要です。本日の総会を経て発足することとなる新体制のもとで、新しい時代にふさわしい事業活動を展開してまいる所存です。

引き続き、会員をはじめ関係機関の皆様のご指導ご鞭撻をお願いし、開会の挨拶とします。

【総会議事内容】

定款の規定に基づき、藤田理事長が議長となり、藤田理事長及び内久根業務執行理事から提出議案の説明が行われた。提出議案と議決結果は次のとおり。

第 1 号議案 平成 30 年度事業報告及び収支決算に関する件

事業報告について、実施事業、試験研究事業、支援事業及び不動産賃貸事業等への取り組みの報告及び 2019 年度事業計画のポイント並びに収支決算についての説明が行われた後、岡田監事から監査報告がなされ、当議案は原案どおり異議なく承認された。

以下事業項目

- 1.植物防疫資材に関する試験研究の受託実施
- 2.登録の少ない農作物に対する農薬登録の促進
- 3.植物防疫に関する調査研究の実施
- 4.植物防疫に関する研修会及び講演会等の開催
- 5.植物防疫に関する歴史的な史料の展示
- 6.植物防疫に関する印刷物の発行
- 7.植物防疫に関する諸情報の収集及び提供
- 8.植物防疫関連資材の提供
- 9.植物防疫に関する国内外の関係機関との連携
- 10.不動産の賃貸に関する事業
- 11.会員への情報提供及び親睦
- 12.会務に関する事項

なお、収支・財産の状況については後述のとおり。



【総会風景】

第 2 号議案 定款変更に関する件

代表理事を複数名おくことができるよう定款の一部を変更すること、「名誉会員」を廃止すること、また定款変更は新執行体制の発足とあわせ 2019 年 7 月 1 日付発効となることについて、提案趣旨及び変更内容の説明が行われ、当議案は原案どおり異議なく承認された。

第3号議案 役員人事に関する件

役員人事については、宇野理事及び西本理事の退任に伴い、後任の理事としてそれぞれ大森 茂氏及び小池 好智氏が新たに理事に就任した。
新役員の紹介は後述のとおり。

第4号議案 役員報酬に関する件

原案どおり異議なく承認された。

第5号議案 会費に関する件

前年同との説明後、原案どおり異議なく承認された。

その他

西尾 健理事が叙勲の栄に浴されたことが紹介され盛大な拍手で祝福された。
最後に宇野理事から退任の挨拶がなされ閉会となった。



【退任の挨拶をする宇野理事】

―――収支・財産の状況―――

〔平成30年度収支の状況〕 (単位：千円)

《収益》

経常収益	2,984,258
経常外収益	330,861
収益計	<u>3,315,119</u>

《費用》

経常費用	2,845,383
経常外費用	220,949
費用計	<u>3,066,333</u>

当期一般正味財産増減額	248,786
一般正味財産期首残高	4,837,695
一般正味財産期末残高	<u>5,086,481</u>

〔平成30年度財産の状況〕 (単位：千円)

《資産》

流動資産	691,870
固定資産	5,529,184
特定預金	3,126,976
その他固定資産	<u>2,402,208</u>
資産合計	<u>6,221,055</u>

《負債》

流動負債	535,743
固定負債	598,830
負債合計	<u>1,134,573</u>
正味財産	<u>5,086,481</u>

※記載金額は千円未満を切り捨てて表示

——新役員のご紹介——

新たに理事に就任したお二方をご紹介します。(敬称略)

大 森 茂 昭和 28 年生まれ

(おおもり しげる)

平成 27 年 山陽薬品株式会社 代表取締役会長 (現)

平成 30 年 全国農薬協同組合 理事長 (現)



【あいさつする大森理事】

小 池 好 智 昭和 29 年生まれ

(こいけ よしとも)

平成 27 年 クミアイ化学工業株式会社 代表取締役社長 (現)

令和元年 農薬工業会会長 (現)

【理事会における代表理事及び業務執行理事の選定結果】

総会終了後、役員による理事会が開催され、2019 年 7 月 1 日に発効される変更定款に基づく代表理事及び業務執行理事が次のとおり選定された。

代表理事・理事長

早 川 泰 弘

代表理事・専務理事

藤 田 俊 一

業務執行理事・常務理事

内 久 根 毅

【会員親睦会】

総会終了後には恒例の会員親睦会が開催された。

藤田理事長より、7 月から新理事長となる早川理事の紹介がなされ、続いて早川理事から開会の挨拶と乾杯の発声がされた。

和やかな歓談の中、西尾理事の中締めで、午後 7 時過ぎに散会となった。



【挨拶に立つ早川理事】



【中締めの挨拶をする西尾理事】